

加曽利貝塚博物館「縄文春まつり」の実施状況について（報告）

- 1 日 程 平成29年5月3日（水・祝）～7日（日）10:00～15:00
- 2 場 所 加曽利貝塚博物館及び加曽利貝塚公園
- 3 参加費 無料
- 4 参加人数 5日間延12,904人（平成28年度8,638人）※4,266人増

5 主な実施プログラム

プログラム名	内容等
縄文あそびコーナー	縄文かるた（3日～5日）、土偶型抜き（3日）、縄文紙芝居（3日・4日）、土偶マグネットづくり（5日）
縄文ひろば	火おこし体験、縄文服の試着、ぶんぶんゴマ・貝アクセサリー作り（3日～7日）
かそりーぬひろば	かそりーぬ絵描き歌、ぬりえ等、（5日）
遺跡解説ガイド	加曽利貝塚を説明するガイドツアー（3日～7日）
復原住居公開と縄文生活体験	復原された竪穴住居に入り、当時の生活を解説、ドングリの試食（3日～7日）
縄文土器ふれあい体験	本物の縄文土器をさわったり、土器づくりの実演の見学（3日～7日）
縄文土器パズル	複製縄文土器の接合体験（3日～7日）
弓矢で狩猟体験	弓矢の射的体験（3日～7日）
ホンビノス貝の味噌汁提供等	ホンビノス貝の味噌汁を各日先着300名に無料提供、ホンビノス貝の焼き物の販売（3日・4日）
石器による解体ショー	複製石器を使って、鯛などの魚の解体を実演（3日・5日・7日）
和太鼓パフォーマンス	市内の和太鼓団体が演技を披露（3日・5日各2回）
縄文スタンプラリー	博物館を含む園内のチェックポイントを巡り、完成者に参加賞（3日～5日）
物販コーナー	縄文イタリアンスープ、ドングリクッキー、野菜、かそりーぬパッチ・切手・弁当・飲料などを販売（3日～5日）
縄文土器煮炊き実験	縄文土器でイボキサゴスープを作って、当日先着100名で試食（5日）

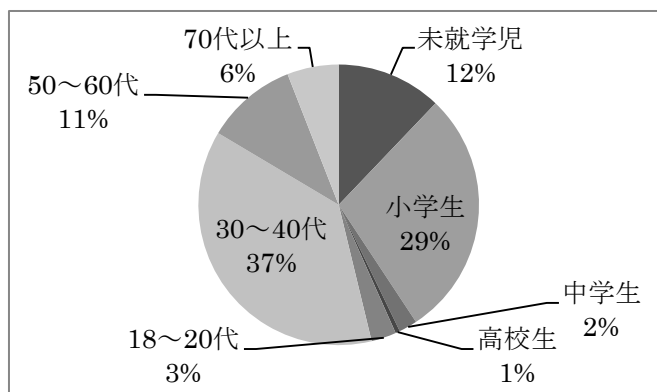
6 今年度の新たな取り組み

- (1) 総合受付の設置
- ・公園入口に総合受付を設置し、プログラムの配布と案内を実施
- (2) シャトルバスの運行
- ・JR都賀駅から加曽利貝塚博物館までの無料シャトルバスを1日8往復運行
- (3) 縄文グルメの提供
- ・貝スープ、ドングリクッキーの提供
- (4) 雨天・直射日光対策
- ・物販コーナー、縄文スタンプラリーの受付にテントを設置

7 アンケート集計結果（5月3日～5日実施）

（1）参加者の年齢層

年齢層	人数（人）
未就学児	143
小学生	337
中学生	25
高校生	6
18～20代	34
30～40代	440
50～60代	124
70代以上	70
計	1179



（2）参加者の住まい

- ・市内 **65%**、県内他市町村 **22%**、他県 **13%**（地元若葉区が約 **33%**で最多）

（3）利用交通手段

- ・車 **60%**、徒歩 **14%**、路線バス・シャトルバス・モノレール・自転車・バイク各 **10%**以下

（4）来館回数

- ・はじめて **49%**、2回目 **16%**、3回目以上 **35%**

（5）何で知ったか

- ・HP **25%**、市政だより **21%**、チラシ **21%**、SNS **9%**、ポスター **8%**、テレビ **2%**、新聞 **1%**
その他 **13%**

（6）評価

- ・4段階評価で満足・やや満足 **90%**以上
- ・やや不満の意見

トイレまでが遠い、トイレが少ない、雑草が多い、車いすでの移動が不便、モノレールからの道順がわかりにくい、自動販売機がほしい

（7）一番良かったプログラム

- ・すべてで高評価
- ・特に多数の高評価
火起こし・アングイン編み・マグネットづくりなどの体験もの
イボキサゴやドングリなどの試食もの

（8）今後やってほしいこと

- ・土器づくり
- ・縄文食の試食、料理
- ・かそりーぬグッズの販売